

Ⅲ. 調査結果の分析 (在勤者意識調査)

1. 回答者の標本構成

(1) 性別

属性	回答者数	比率
男性	432	60.8%
女性	254	35.8
選べない・ 答えたくない	13	1.8
無回答	11	1.5
全体	710	100.0

(2) 年代

属性	回答者数	比率
18～19歳	3	0.4%
20代	68	9.6
30代	144	20.3
40代	193	27.2
50代	215	30.3
60代	61	8.6
70歳以上	12	1.7
無回答	14	2.0
全体	710	100.0

(3) 居住地域

属性	回答者数	比率
近隣市北部	128	18.0%
近隣市南部	72	10.1
埼玉県西部及び秩父地域	101	14.2
埼玉県東部地域	180	25.4
埼玉県北部地域	21	3.0
東京都23区	76	10.7
その他の東京都	29	4.1
千葉県	38	5.4
神奈川県	12	1.7
その他	41	5.8
無回答	12	1.7
全体	710	100.0

(4) 在勤区

属性	回答者数	比率
西区	26	3.7%
北区	98	13.8
大宮区	102	14.4
見沼区	61	8.6
中央区	63	8.9
桜区	46	6.5
浦和区	119	16.8
南区	34	4.8
緑区	55	7.7
岩槻区	94	13.2
無回答	12	1.7
全体	710	100.0

(5) さいたま市内での在勤年数 (合併前も含む)

属性	回答者数	比率
1年未満	52	7.3%
1～3年未満	90	12.7
3～5年未満	120	16.9
5～10年未満	103	14.5
10～20年未満	188	26.5
20年以上	144	20.3
無回答	13	1.8
全体	710	100.0

(6) 通勤時間

属性	回答者数	比率
30分未満	113	15.9%
30分～1時間未満	234	33.0
1時間～1時間半未満	233	32.8
1時間半～2時間未満	97	13.7
2時間以上	20	2.8
無回答	13	1.8
全体	710	100.0

(7) 通勤手段

属性	回答者数	比率
電車	419	59.0%
路線バス	7	1.0
送迎バス	0	0.0
自家用車	218	30.7
バイク	7	1.0
自転車	37	5.2
徒歩	6	0.8
その他	4	0.6
無回答	12	1.7
全体	710	100.0

(8) 家族構成

属性	回答者数	比率
一人暮らし	105	14.8%
夫婦だけ	142	20.0
親子(2世代)	391	55.1
親と子と孫(3世代)	44	6.2
その他	14	2.0
無回答	14	2.0
全体	710	100.0

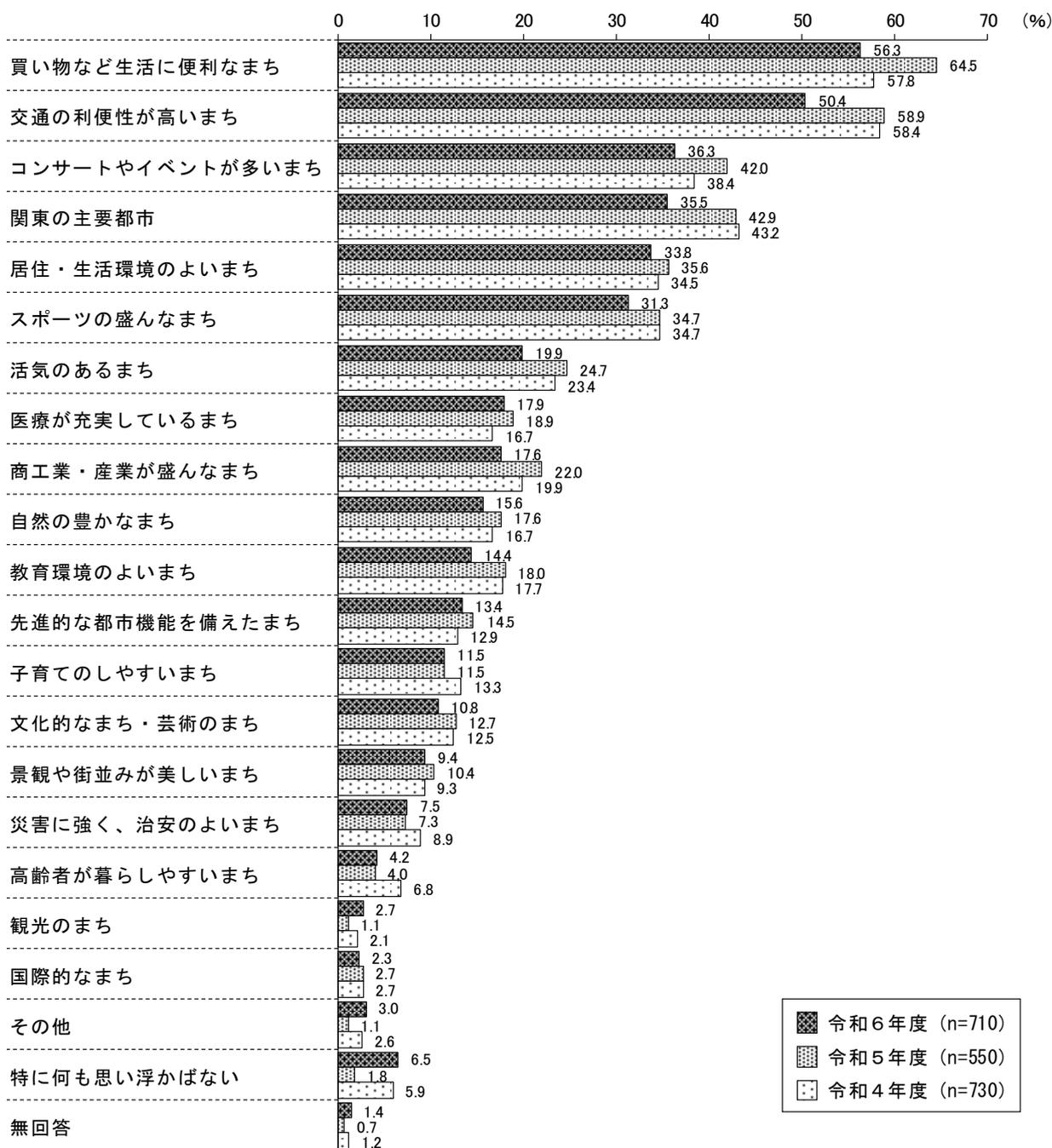
2. さいたま市のイメージ

(1) さいたま市のイメージ

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(1) あなたは、「さいたま市」にどのようなイメージを持っていますか。(〇はいくつでも)

図2-1-1 さいたま市のイメージ



全体結果

「買い物など生活に便利なまち」が56.3%で最も高く、「交通の利便性が高いまち」(50.4%)、「コンサートやイベントが多いまち」(36.3%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ、上位4項目はいずれも5ポイント以上減少した。(図2-1-1)

表2-1-1 さいたま市のイメージ-性別、年代別、居住地域別- (上位10項目)

	n	買い物など生活に 便利なまち	交通の利便性が高 いまち	コンサートやイベ ントが多いまち	関東の主要都市	居住・生活環境の よいまち	スポーツの盛んな まち	活気のあるまち	医療が充実してい るまち	商工業・産業が盛 んなまち	自然の豊かなまち
全 体	710	56.3	50.4	36.3	35.5	33.8	31.3	19.9	17.9	17.6	15.6
< 性別 >											
男 性	432	54.2	52.3	34.5	38.4	35.0	34.7	20.6	17.8	20.4	17.4
女 性	254	61.4	50.4	39.4	32.3	34.6	25.2	19.3	18.5	13.8	12.6
< 年代別 >											
18 ~ 29 歳	71	53.5	49.3	39.4	26.8	36.6	15.5	16.9	12.7	15.5	14.1
30 代	144	58.3	48.6	33.3	27.8	34.7	21.5	16.7	17.4	10.4	9.7
40 代	193	51.8	47.7	39.9	34.2	30.1	36.8	23.8	19.7	19.2	16.1
50 代	215	60.9	54.9	36.3	44.2	34.9	40.0	20.0	17.7	20.9	18.1
60 代	61	59.0	55.7	29.5	37.7	45.9	26.2	18.0	19.7	23.0	19.7
70 歳以上	12	50.0	50.0	41.7	50.0	25.0	8.3	16.7	25.0	16.7	25.0
< 居住地域別 >											
近 隣 市 北 部	128	66.4	57.8	39.8	35.9	35.2	31.3	25.0	24.2	25.0	12.5
近 隣 市 南 部	72	59.7	40.3	33.3	27.8	45.8	33.3	20.8	25.0	12.5	18.1
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	101	63.4	56.4	38.6	36.6	34.7	30.7	17.8	14.9	13.9	8.9
埼 玉 県 東 部 地 域	180	56.1	51.7	41.7	41.7	33.9	35.0	18.3	21.7	22.8	16.1
埼 玉 県 北 部 地 域	21	81.0	66.7	33.3	42.9	33.3	19.0	23.8	19.0	19.0	4.8
東 京 都 23 区	76	36.8	38.2	28.9	28.9	31.6	25.0	15.8	7.9	17.1	26.3
そ の 他 の 東 京 都	29	37.9	24.1	41.4	24.1	24.1	41.4	6.9	13.8	10.3	27.6
千 葉 県	38	39.5	47.4	26.3	28.9	21.1	36.8	23.7	7.9	13.2	21.1
神 奈 川 県	12	50.0	41.7	41.7	41.7	41.7	25.0	8.3	-	8.3	25.0
そ の 他	41	63.4	73.2	24.4	41.5	34.1	19.5	29.3	14.6	7.3	7.3

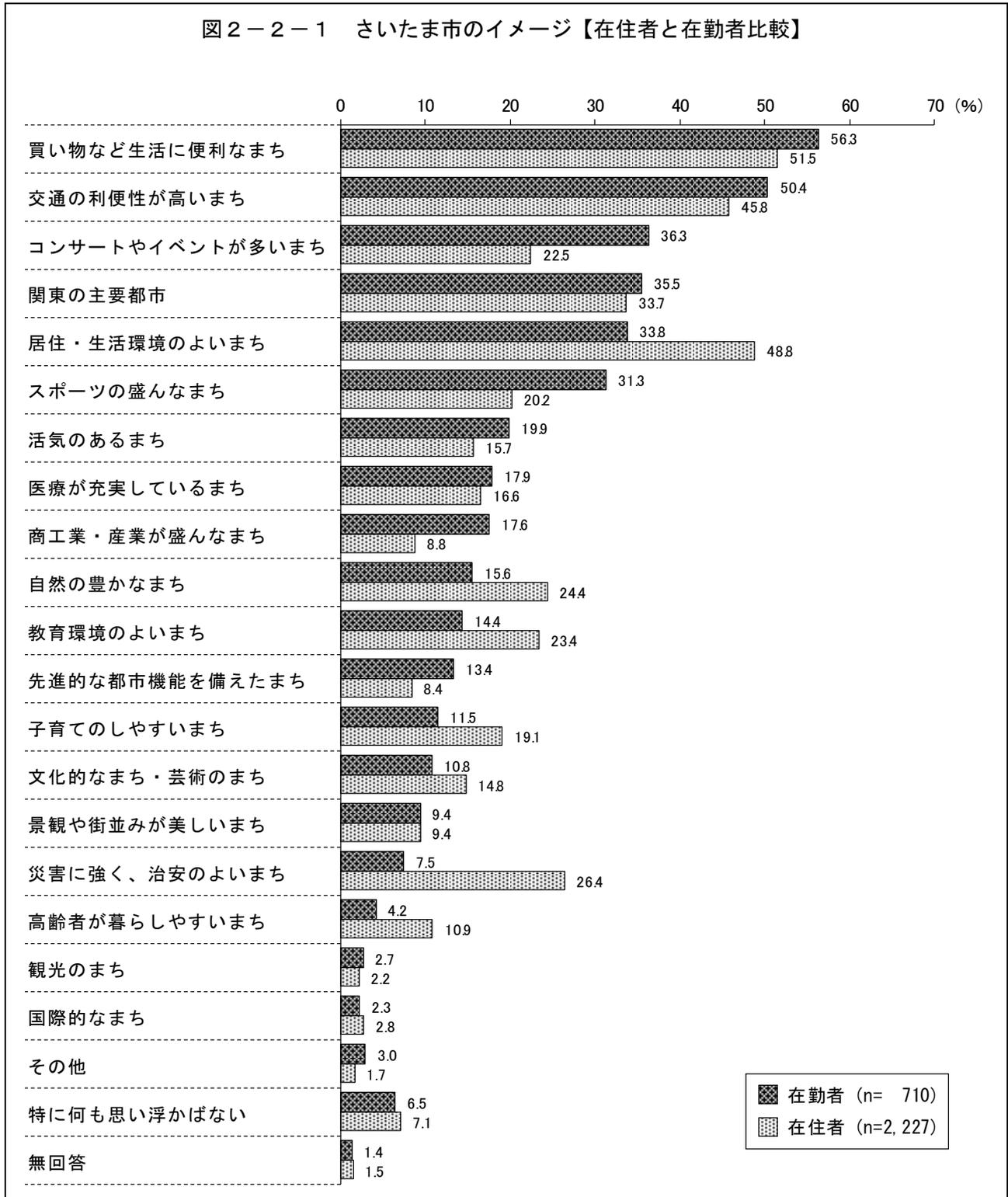
属 性 別

性別でみると、「関東の主要都市」、「スポーツの盛んなまち」、「商工業・産業が盛んなまち」は、男性が女性より6ポイント以上高かった。一方、「買い物など生活に便利なまち」は、女性(61.4%)が男性(54.2%)より7.2ポイント高かった。

年代別でみると、「買い物など生活に便利なまち」はすべての年代、「交通の利便性が高いまち」は50代以上で5割以上であった。

居住地域別でみると、「買い物など生活に便利なまち」は、「埼玉県北部地域」(81.0%)で8割を超えた。(表2-1-1)

(2) さいたま市のイメージ【在住者と在勤者比較】



全体結果

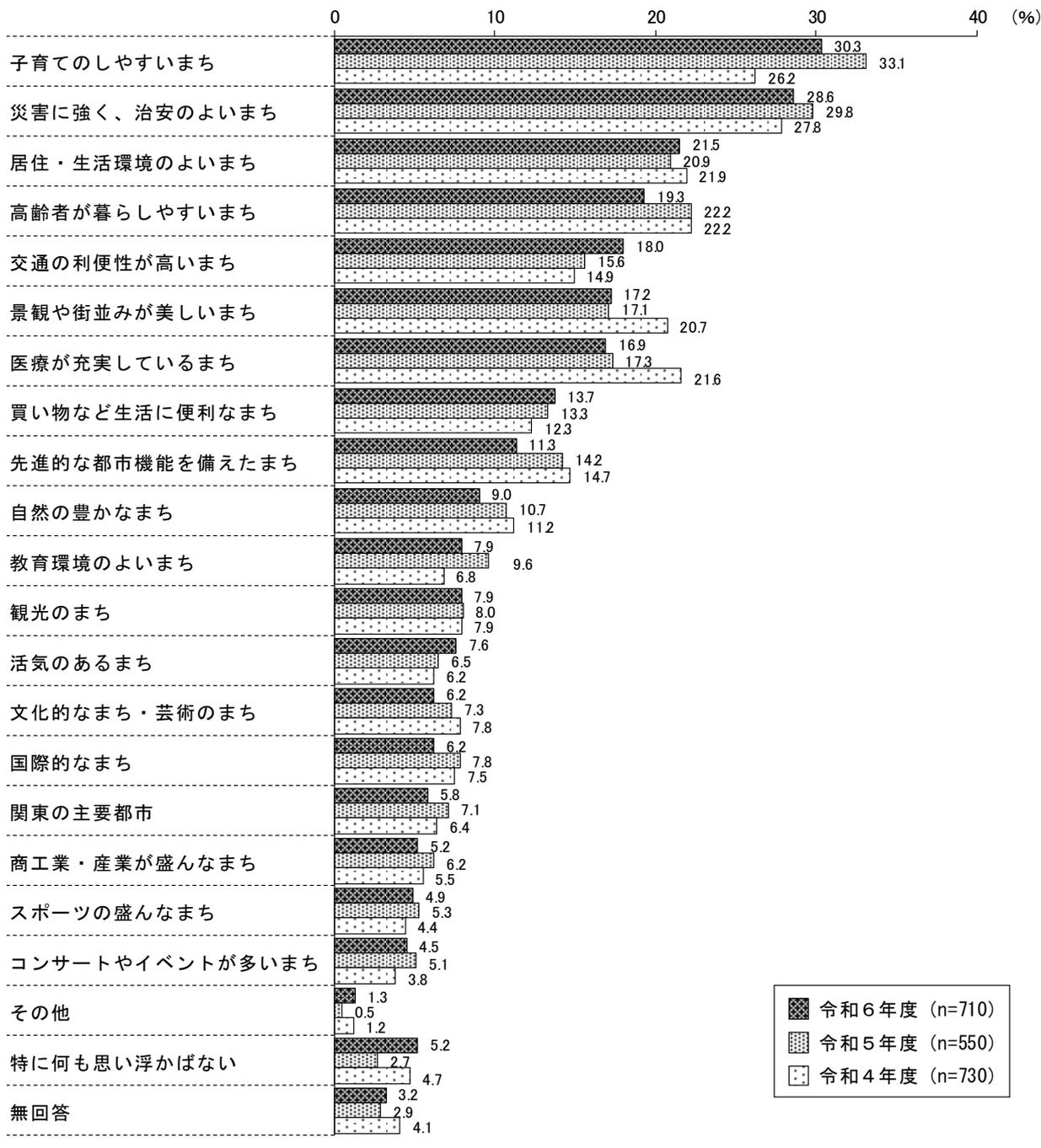
「コンサートやイベントが多いまち」は13.8ポイント、「スポーツの盛んなまち」は11.1ポイント、「商工業・産業が盛んなまち」は8.8ポイント、「先進的な都市機能を備えたまち」は5.0ポイント、在勤者が在住者より高かった。一方、「災害に強く、治安のよいまち」は18.9ポイント、「居住・生活環境のよいまち」は15.0ポイント、「教育環境のよいまち」は9.0ポイント、「自然の豊かなまち」は8.8ポイント、在住者が在勤者より高かった。(図2-2-1)

(3) さいたま市の発展の方向性

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(2) あなたは、「さいたま市」が今後いっそう魅力的な都市になるためには、将来どのような方向へ発展するとよいと思いますか。(〇は3つまで)

図2-3-1 さいたま市の発展の方向性



全体結果

「子育てのしやすいまち」が30.3%で最も高く、「災害に強く、治安のよいまち」(28.6%)、「居住・生活環境のよいまち」(21.5%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、「交通の利便性が高いまち」は増加傾向にある。一方、「医療が充実しているまち」は減少傾向にある。(図2-3-1)

表 2-3-1 さいたま市の発展の方向性—性別、年代別、居住地域別—（上位 10 項目）

	n	子育てのしやすいまち	災害に強く、治安のよいまち	居住・生活環境のよいまち	高齢者が暮らしやすいまち	交通の利便性が高いまち	景観や街並みが美しいまち	医療が充実しているまち	買い物など生活に便利なまち	先進的な都市機能を備えたまち	自然の豊かなまち
全体	710	30.3	28.6	21.5	19.3	18.0	17.2	16.9	13.7	11.3	9.0
<性別>											
男性	432	29.4	26.4	21.1	17.4	19.4	18.5	16.7	12.3	13.0	9.0
女性	254	33.1	33.1	22.8	23.6	16.5	15.0	17.3	15.0	8.7	9.4
<年代別>											
18～29歳	71	35.2	23.9	22.5	8.5	15.5	21.1	8.5	21.1	8.5	11.3
30代	144	38.9	25.7	21.5	16.7	20.1	13.2	13.9	15.3	10.4	4.9
40代	193	28.0	30.1	21.8	19.2	20.2	15.0	13.0	11.4	10.9	9.8
50代	215	27.0	30.2	21.9	21.4	15.8	19.1	24.2	13.0	12.6	9.3
60代	61	31.1	37.7	21.3	34.4	18.0	18.0	24.6	9.8	8.2	13.1
70歳以上	12	8.3	16.7	-	16.7	16.7	33.3	8.3	8.3	41.7	16.7
<居住地域別>											
近隣市北部	128	28.1	31.3	16.4	19.5	14.8	10.9	27.3	15.6	12.5	8.6
近隣市南部	72	36.1	36.1	18.1	27.8	19.4	15.3	16.7	15.3	11.1	8.3
埼玉県西部及び秩父地域	101	33.7	33.7	21.8	20.8	14.9	14.9	15.8	13.9	9.9	9.9
埼玉県東部地域	180	27.8	26.1	21.7	18.9	15.0	17.2	13.9	12.8	11.7	8.9
埼玉県北部地域	21	38.1	23.8	38.1	38.1	23.8	23.8	14.3	4.8	14.3	19.0
東京都 23 区	76	30.3	22.4	25.0	15.8	25.0	27.6	13.2	14.5	10.5	5.3
その他の東京都	29	24.1	17.2	31.0	10.3	34.5	17.2	3.4	6.9	17.2	13.8
千葉県	38	28.9	26.3	15.8	5.3	23.7	7.9	15.8	13.2	5.3	7.9
神奈川県	12	41.7	41.7	16.7	25.0	-	41.7	8.3	16.7	8.3	8.3
その他	41	29.3	31.7	26.8	17.1	19.5	22.0	24.4	14.6	14.6	12.2

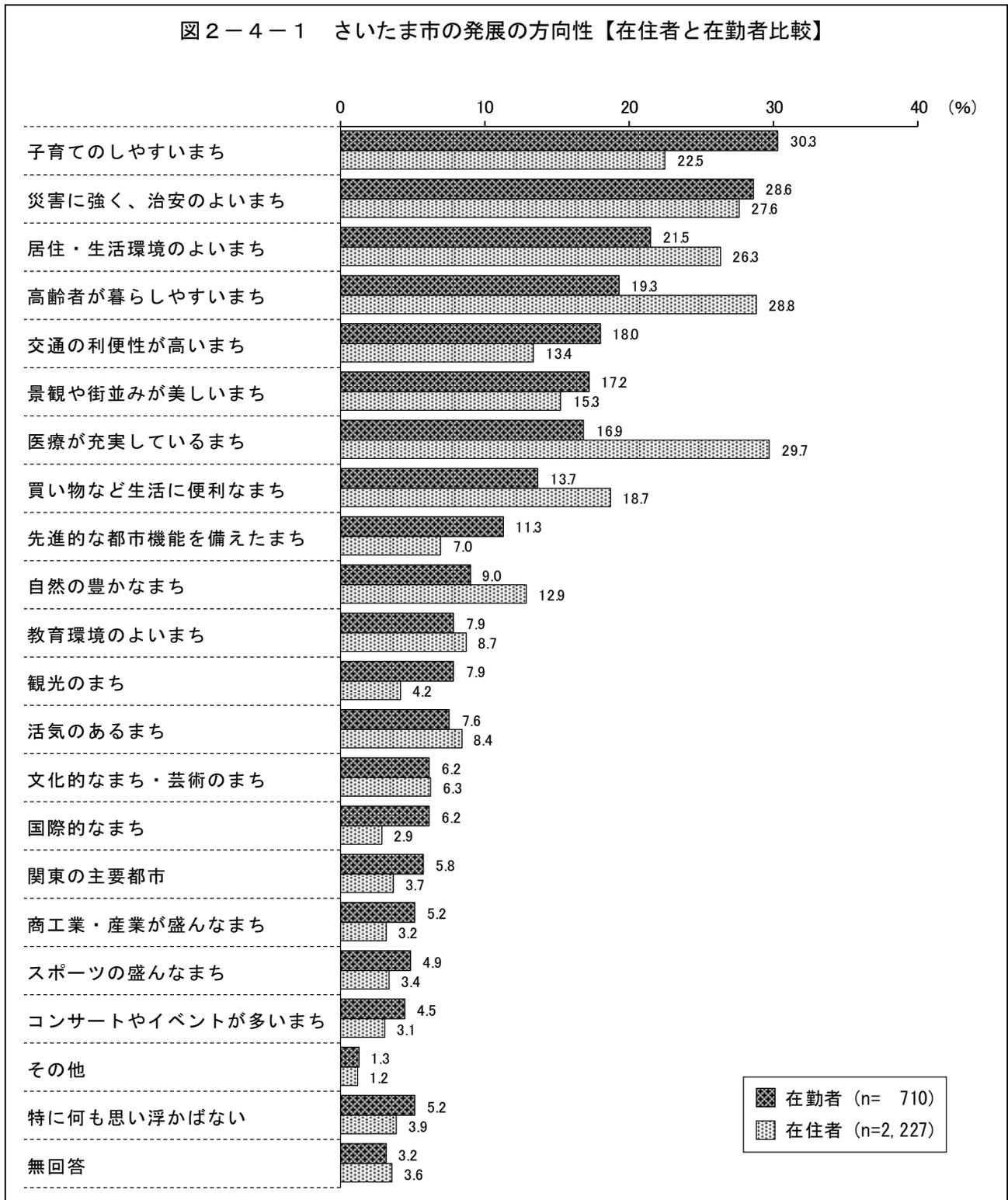
属性別

性別でみると、「災害に強く、治安のよいまち」、「高齢者が暮らしやすいまち」は、女性が男性より 6 ポイント以上高かった。

居住地域別でみると、「医療が充実しているまち」は、「近隣市北部」(27.3%) で 3 割近くであった。

(表 2-3-1)

(4) さいたま市の発展の方向性【在住者と在勤者比較】



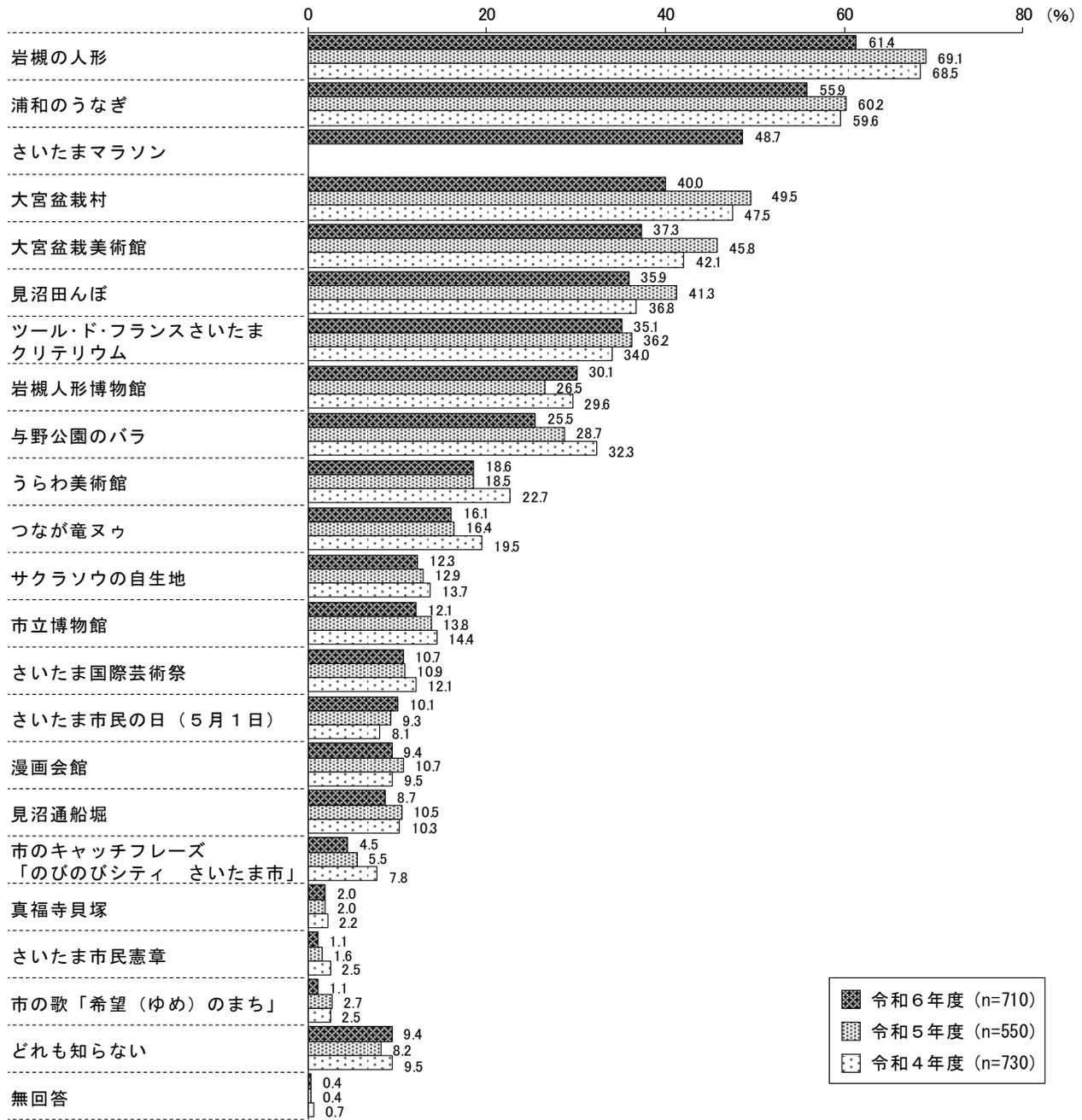
全体結果

「子育てのしやすいまち」は7.8ポイント、在勤者が在住者より高かった。一方、「医療が充実しているまち」は12.8ポイント、「高齢者が暮らしやすいまち」は9.5ポイント、在住者が在勤者より高かった。(図2-4-1)

(5) さいたま市について知っているもの

問2 さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどについて、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図2-5-1 さいたま市について知っているもの



(注記)「さいたまマラソン」は、令和6年度調査から選択肢に加えた。

全体結果

「岩槻の人形」が61.4%で最も高く、「浦和のうなぎ」(55.9%)、「さいたまマラソン」(48.7%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、上位6項目のうち、新規項目の「さいたまマラソン」を除く5項目は、令和5年度と比べいずれも4ポイント以上減少した。一方、「岩槻人形博物館」(30.1%)は、3.6ポイント増加した。(図2-5-1)

表 2-5-1 さいたま市について知っているもの—性別、年代別、居住地域別—（上位 10 項目）

		岩槻 の人形	浦和 のうなぎ	さい たまマ ラソン	大宮 盆栽 村	大宮 盆栽 美術 館	見沼 田んぼ	いた まクリ ド・フ ランス さ	岩槻 人形 博物 館	与野 公園 のバラ	うら わ美術 館	(%)
全 体	710	61.4	55.9	48.7	40.0	37.3	35.9	35.1	30.1	25.5	18.6	
< 性別 >												
男 性	432	61.6	53.2	50.9	41.0	36.6	37.3	36.6	30.8	22.0	16.2	
女 性	254	63.0	62.2	46.9	40.2	39.8	35.4	34.3	31.1	32.3	24.0	
< 年代別 >												
18 ~ 29 歳	71	32.4	36.6	38.0	16.9	19.7	11.3	8.5	16.9	18.3	14.1	
30 代	144	41.7	48.6	48.6	29.9	36.8	24.3	34.7	21.5	17.4	16.0	
40 代	193	62.7	54.4	46.1	35.8	34.2	36.8	40.4	32.1	20.7	21.8	
50 代	215	78.1	66.0	50.7	52.6	44.2	48.4	39.1	34.4	34.9	20.0	
60 代	61	78.7	68.9	62.3	60.7	44.3	45.9	41.0	44.3	31.1	18.0	
70 歳 以 上	12	83.3	50.0	58.3	58.3	58.3	58.3	33.3	58.3	58.3	25.0	
< 居住地域別 >												
近 隣 市 北 部	128	67.2	64.1	52.3	61.7	60.9	44.5	46.9	35.9	39.8	20.3	
近 隣 市 南 部	72	65.3	79.2	61.1	37.5	34.7	45.8	40.3	26.4	34.7	37.5	
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	101	56.4	56.4	50.5	39.6	37.6	38.6	41.6	17.8	35.6	25.7	
埼 玉 県 東 部 地 域	180	81.7	54.4	48.9	42.2	35.6	35.0	31.7	50.0	20.0	16.1	
埼 玉 県 北 部 地 域	21	38.1	47.6	66.7	42.9	23.8	28.6	47.6	14.3	33.3	19.0	
東 京 都 23 区	76	40.8	48.7	43.4	27.6	23.7	25.0	21.1	7.9	13.2	9.2	
そ の 他 の 東 京 都	29	37.9	37.9	37.9	10.3	10.3	27.6	20.7	20.7	20.7	10.3	
千 葉 県	38	50.0	36.8	34.2	21.1	31.6	28.9	23.7	39.5	10.5	13.2	
神 奈 川 県	12	41.7	50.0	58.3	33.3	16.7	25.0	41.7	8.3	16.7	8.3	
そ の 他	41	48.8	43.9	31.7	34.1	39.0	34.1	31.7	19.5	7.3	7.3	

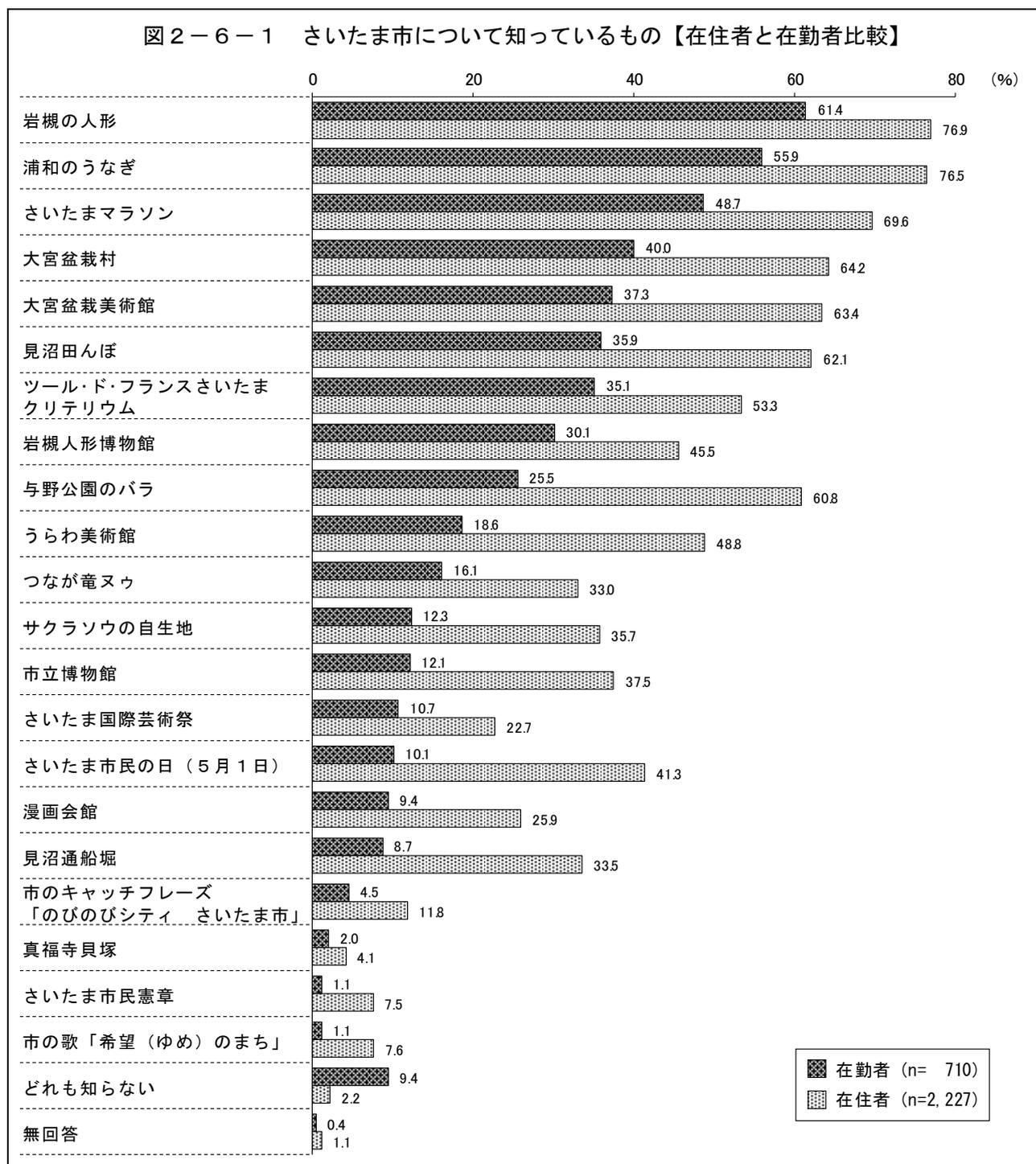
属 性 別

性別でみると、「浦和のうなぎ」、「与野公園のバラ」、「うらわ美術館」は、女性が男性より7ポイント以上高かった。

年代別でみると、「岩槻の人形」、「岩槻人形博物館」は、年代が上がるにつれ高くなった。

居住地域別でみると、「岩槻の人形」は「埼玉県東部地域」(81.7%)、「浦和のうなぎ」は「近隣市南部」(79.2%)で8割前後と、特に高かった。また、「近隣市北部」は、上位5項目がすべて5割以上であった。(表2-5-1)

(6) さいたま市について知っているもの【在住者と在勤者比較】



全体結果

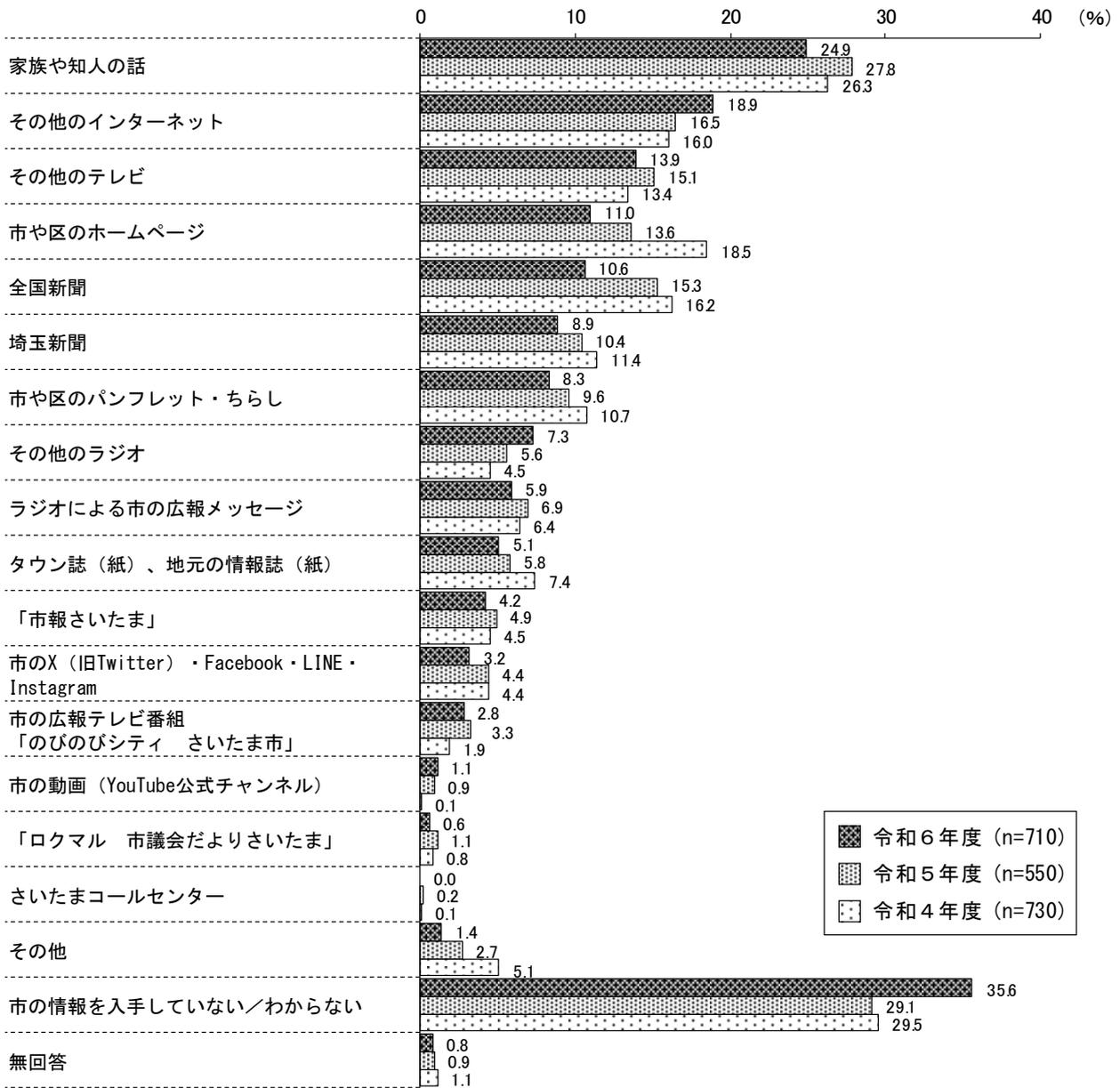
すべての項目で在住者が在勤者より高かった。「与野公園のバラ」は35.3ポイント、「さいたま市民の日 (5月1日)」は31.2ポイント、「うらわ美術館」は30.2ポイント、在住者が在勤者より高く、21項目中17項目で10ポイント以上差が開いた。(図2-6-1)

(7) さいたま市が発信する情報の入手方法

問3 あなたは、さいたま市が発信する情報をどのような方法で入手していますか。

(〇はいくつでも)

図2-7-1 さいたま市が発信する情報の入手方法



全体結果

「家族や知人の話」が24.9%で最も高く、「その他のインターネット」(18.9%)、「その他のテレビ」(13.9%)が続いた。一方、「市の情報を入手していない/わからない」は35.6%であった。

過去2年間の調査結果と比較すると、「市や区のホームページ」、「全国新聞」などは減少傾向にある。一方、「市の情報を入手していない/わからない」は、令和5年度と比べ、6.5ポイント増加した。

(図2-7-1)

表 2-7-1 さいたま市が発信する情報の入手方法—性別、年代別、居住地域別—（上位 10 項目）

												(%)
	n	家族や知人の話	その他のインターネット	その他のテレビ	市や区のホームページ	全国新聞	埼玉新聞	市や区のパンフレット・ちらし	その他のラジオ	ラジオによる市の広報メッセージ	タウン誌（紙）、地元の情報誌（紙）	
全 体	710	24.9	18.9	13.9	11.0	10.6	8.9	8.3	7.3	5.9	5.1	
< 性別 >												
男 性	432	21.8	20.8	16.4	12.0	10.9	9.3	8.8	8.8	7.6	5.8	
女 性	254	31.1	15.7	9.4	10.2	9.8	8.3	7.9	3.9	3.5	4.3	
< 年代別 >												
18 ~ 29 歳	71	28.2	11.3	7.0	7.0	5.6	7.0	11.3	4.2	2.8	-	
30 代	144	16.7	9.7	8.3	9.0	5.6	7.6	9.0	4.2	4.2	2.8	
40 代	193	20.7	17.6	11.9	10.4	6.7	9.3	3.1	6.7	6.7	3.6	
50 代	215	33.0	23.7	18.1	15.8	15.8	8.8	9.3	8.4	7.4	7.9	
60 代	61	23.0	32.8	23.0	8.2	16.4	9.8	14.8	11.5	4.9	9.8	
70 歳以上	12	33.3	33.3	33.3	8.3	41.7	16.7	25.0	16.7	16.7	16.7	
< 居住地域別 >												
近 隣 市 北 部	128	32.0	15.6	10.2	12.5	15.6	10.2	8.6	8.6	7.0	7.0	
近 隣 市 南 部	72	27.8	18.1	19.4	5.6	8.3	9.7	8.3	6.9	2.8	1.4	
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	101	25.7	18.8	12.9	10.9	7.9	6.9	6.9	9.9	9.9	5.0	
埼 玉 県 東 部 地 域	180	27.2	15.6	13.3	13.3	11.7	11.1	10.6	6.7	7.2	8.3	
埼 玉 県 北 部 地 域	21	28.6	23.8	19.0	4.8	19.0	14.3	9.5	4.8	9.5	-	
東 京 都 23 区	76	13.2	18.4	11.8	9.2	10.5	1.3	2.6	2.6	1.3	3.9	
そ の 他 の 東 京 都	29	6.9	27.6	13.8	10.3	13.8	13.8	10.3	6.9	3.4	-	
千 葉 県	38	15.8	31.6	21.1	5.3	2.6	5.3	2.6	10.5	-	-	
神 奈 川 県	12	16.7	8.3	16.7	16.7	-	16.7	25.0	-	-	8.3	
そ の 他	41	29.3	26.8	14.6	14.6	4.9	4.9	9.8	9.8	9.8	4.9	

属 性 別

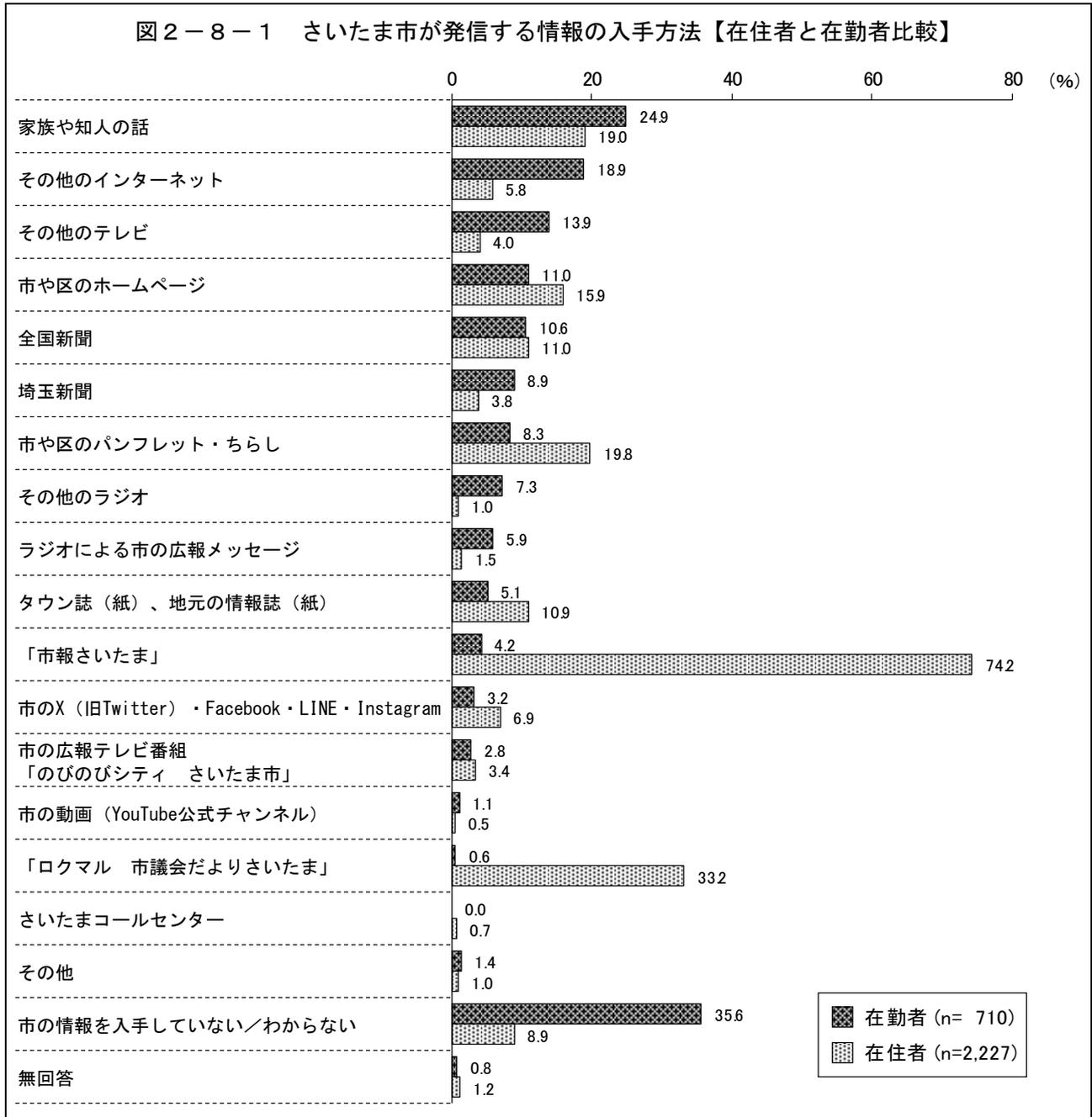
性別でみると、「家族や知人の話」は、女性（31.1%）が男性（21.8%）より、9.3ポイント高かった。また、「その他のインターネット」、「その他のテレビ」は、男性が女性より5ポイント以上高かった。

年代別でみると、「家族や知人の話」は、50代（33.0%）、「その他のインターネット」は、60代（32.8%）で3割を超えた。また、「その他のテレビ」は、年代が上がるにつれ増加した。

居住地域別でみると、「家族や知人の話」は、「近隣市北部」（32.0%）で3割を超えた。

（表 2-7-1）

(8) さいたま市が発信する情報の入手方法【在住者と在勤者比較】



全体結果

16項目中7項目で在勤者が在住者より高かった。「その他のインターネット」は13.1ポイント、「その他のテレビ」は9.9ポイント、「その他のラジオ」は6.3ポイント、在勤者が在住者より高かった。また、「市の情報を入手していない/わからない」は、在勤者(35.6%)が在住者(8.9%)より26.7ポイント高かった。(図2-8-1)

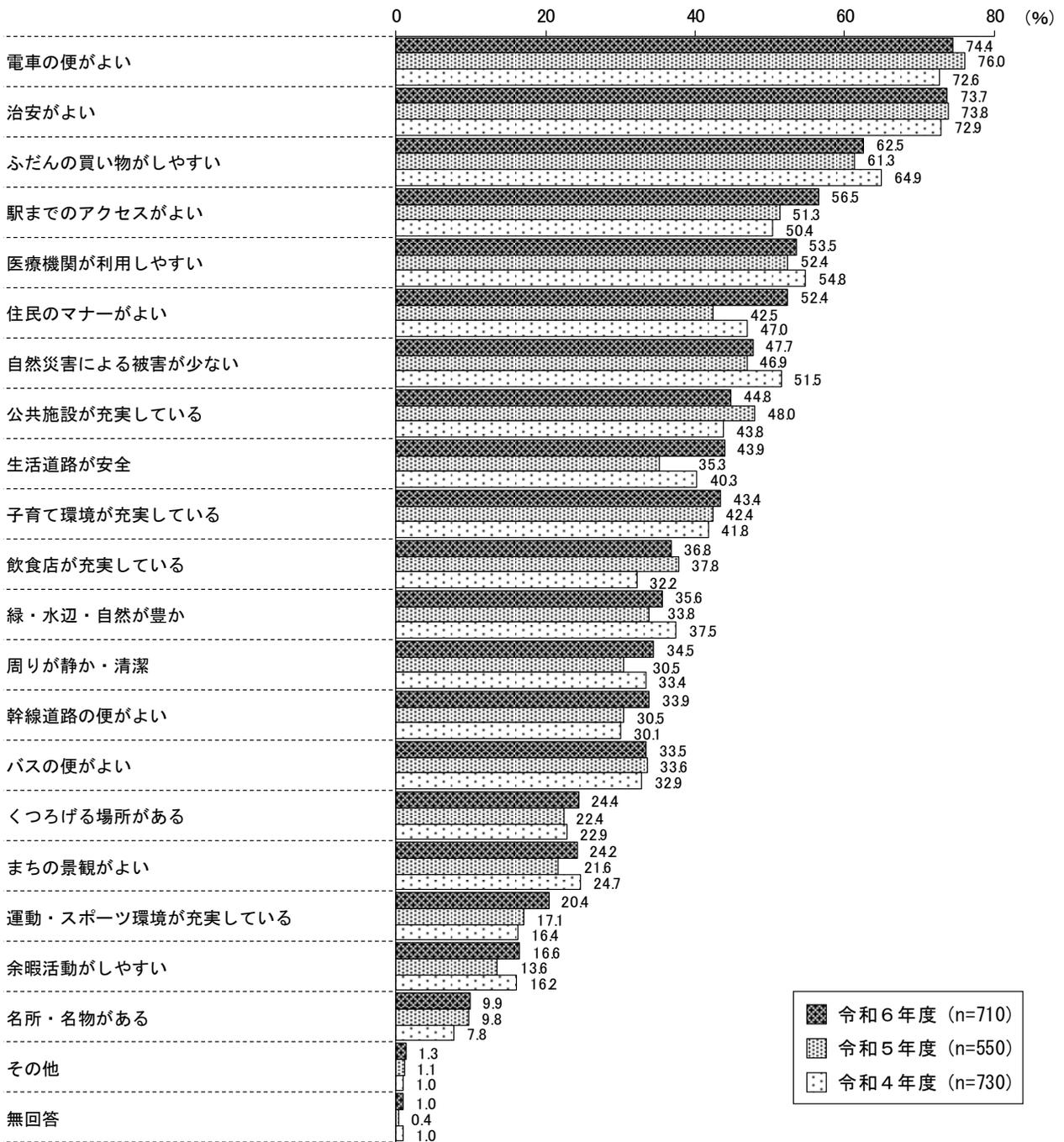
(9) 住みやすいまちの条件

問4 住みやすいまちの条件と、それに対するさいたま市の評価について質問します。

(1) あなたにとって、「住みやすいまち」とは、どのようなまちですか。

以下の中から、あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

図2-9-1 住みやすいまちの条件



全体結果

「電車の便がよい」が74.4%で最も高く、「治安がよい」(73.7%)、「ふだんの買い物がしやすい」(62.5%)が続いた。

過去2年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ「住民のマナーがよい」、「生活道路が安全」、「駅までのアクセスがよい」が5ポイント以上増加した。(図2-9-1)

表 2-9-1 住みやすいまちの条件—性別、年代別、居住地域別—（上位 10 項目）

	n	電車の便がよい	治安がよい	ふだんの買い物がしやすい	駅までのアクセスがよい	医療機関が利用しやすい	住民のマナーがよい	自然災害による被害が少ない	公共施設が充実している	生活道路が安全	子育て環境が充実している
全 体	710	74.4	73.7	62.5	56.5	53.5	52.4	47.7	44.8	43.9	43.4
< 性別 >											
男 性	432	73.8	72.5	57.6	54.6	49.3	52.1	43.8	39.4	43.8	39.4
女 性	254	78.3	77.2	73.2	61.0	61.4	54.3	55.9	54.3	45.7	51.2
< 年代別 >											
18 ~ 29 歳	71	76.1	64.8	60.6	50.7	38.0	49.3	39.4	46.5	35.2	45.1
30 代	144	75.7	72.2	61.1	62.5	45.1	52.8	41.7	44.4	47.2	43.1
40 代	193	80.3	80.8	61.1	56.0	60.1	57.0	51.3	42.5	45.1	47.2
50 代	215	71.2	73.5	65.6	52.1	55.8	49.3	50.2	44.7	43.3	41.9
60 代	61	73.8	73.8	72.1	65.6	67.2	54.1	55.7	52.5	49.2	37.7
70 歳以上	12	41.7	58.3	41.7	66.7	50.0	58.3	41.7	41.7	33.3	41.7
< 居住地域別 >											
近 隣 市 北 部	128	72.7	64.8	59.4	54.7	57.0	46.1	47.7	45.3	53.9	41.4
近 隣 市 南 部	72	75.0	80.6	76.4	65.3	63.9	59.7	61.1	47.2	52.8	50.0
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	101	74.3	74.3	63.4	51.5	55.4	52.5	50.5	48.5	48.5	40.6
埼 玉 県 東 部 地 域	180	68.3	76.1	59.4	55.0	51.7	52.8	48.3	45.6	41.7	43.3
埼 玉 県 北 部 地 域	21	90.5	81.0	81.0	66.7	52.4	52.4	57.1	42.9	42.9	42.9
東 京 都 23 区	76	84.2	69.7	57.9	51.3	43.4	52.6	32.9	40.8	31.6	40.8
そ の 他 の 東 京 都	29	69.0	58.6	51.7	55.2	41.4	44.8	31.0	37.9	24.1	48.3
千 葉 県	38	84.2	84.2	63.2	52.6	52.6	68.4	57.9	31.6	44.7	44.7
神 奈 川 県	12	100.0	66.7	66.7	83.3	58.3	58.3	50.0	50.0	8.3	33.3
そ の 他	41	73.2	90.2	68.3	68.3	56.1	48.8	43.9	46.3	41.5	48.8

属 性 別

性別でみると、すべての項目で女性が男性より高く、「ふだんの買い物がしやすい」、「医療機関が利用しやすい」、「自然災害による被害が少ない」、「公共施設が充実している」、「子育て環境が充実している」は、10ポイント以上高かった。

年代別でみると、上位4項目は、60代以下で5割以上であり、「電車の便がよい」、「治安がよい」は、40代で8割台であった。

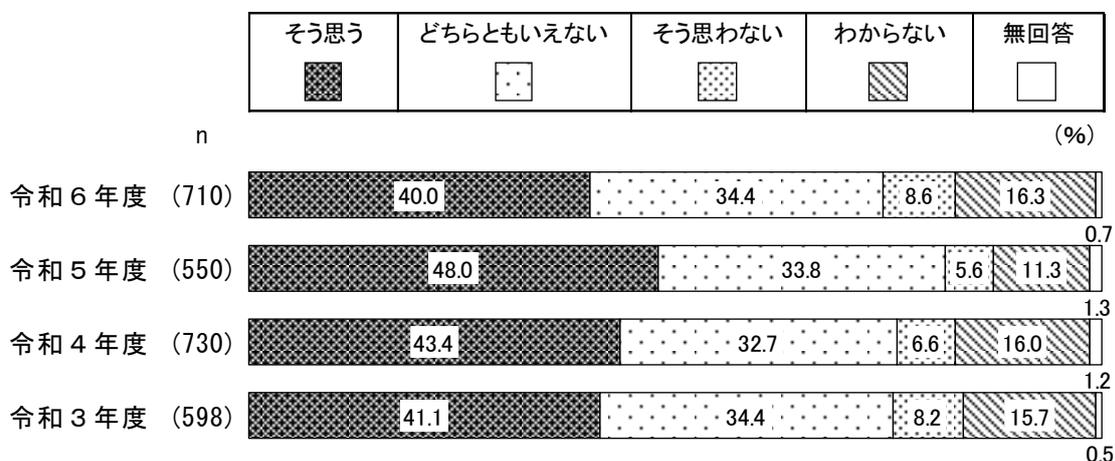
居住地域別でみると、上位4項目は、すべての地域で5割以上であった。また、「近隣市南部」は、「医療機関が利用しやすい」(63.9%)、「自然災害による被害が少ない」(61.1%)、「住民のマナーがよい」(59.7%)で、6割前後であった。(表2-9-1)

(10) さいたま市は住みやすいか

問4 住みやすいまちの条件と、それに対するさいたま市の評価について質問します。

(2) あなたは、さいたま市は「住みやすいまち」だと思いますか。(〇は1つ)

図2-10-1 さいたま市は住みやすいか



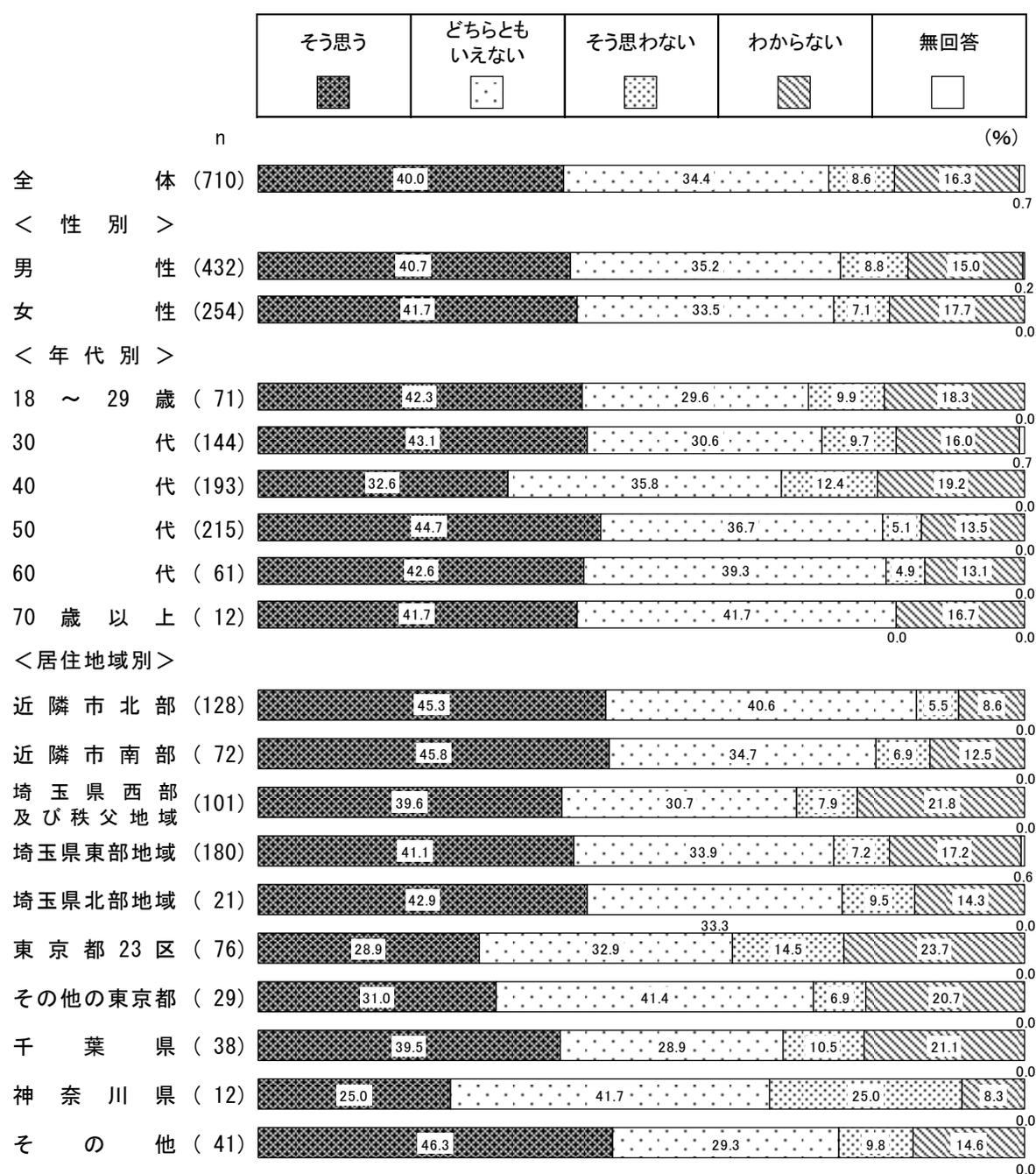
全体結果

「そう思う」は40.0%、「どちらともいえない」は34.4%、「そう思わない」は8.6%であった。「そう思う」が「そう思わない」より31.4ポイント高かった。

過去3年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ「そう思う」は8.0ポイント減少した。

(図2-10-1)

図2-10-2 さいたま市は住みやすいか—性別、年代別、居住地域別—



属性別

年代別でみると、「そう思う」は、50代（44.7%）が最も高く、40代（32.6%）を除き4割台であった。

居住地域別でみると、「そう思う」は、「近隣市南部」（45.8%）、「近隣市北部」（45.3%）が4割半ば、「埼玉県東部地域」（41.1%）、「埼玉県西部及び秩父地域」（39.6%）が4割前後であった。

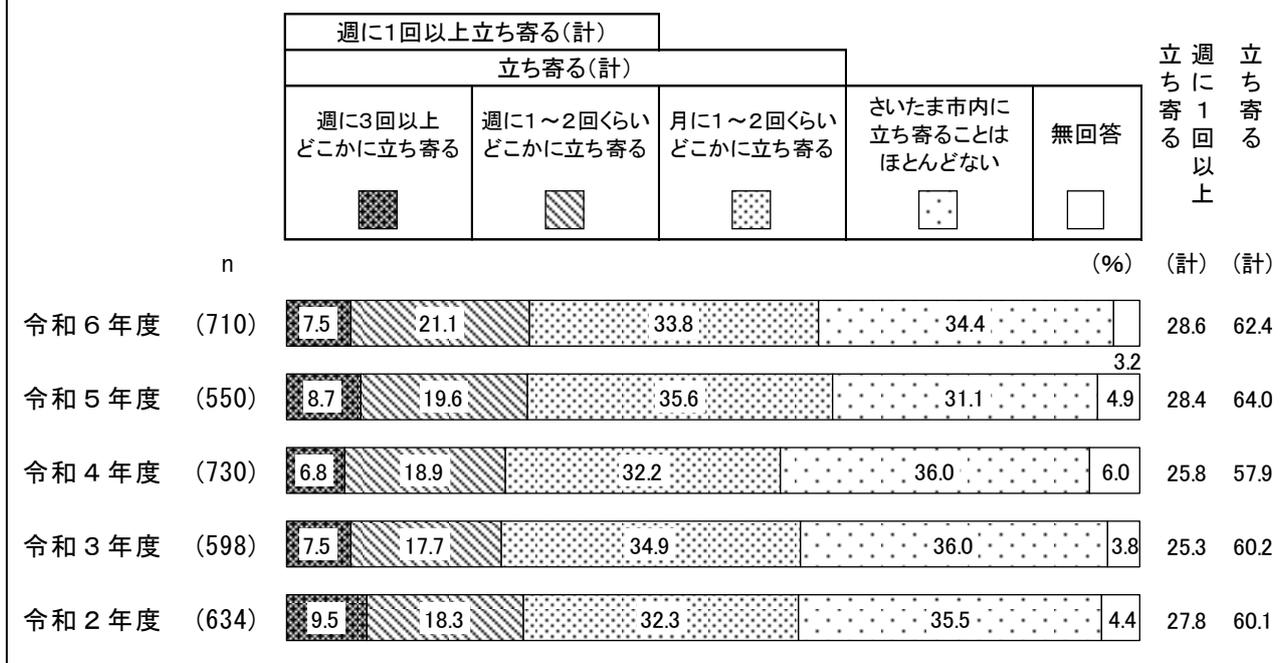
（図2-10-2）

3. 市内での活動

(1) 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度

問5 あなたは、お仕事が終わったあと、食事や買い物などでさいたま市内のどこかに立ち寄ることがありますか。(○は1つ)

図3-1-1 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度

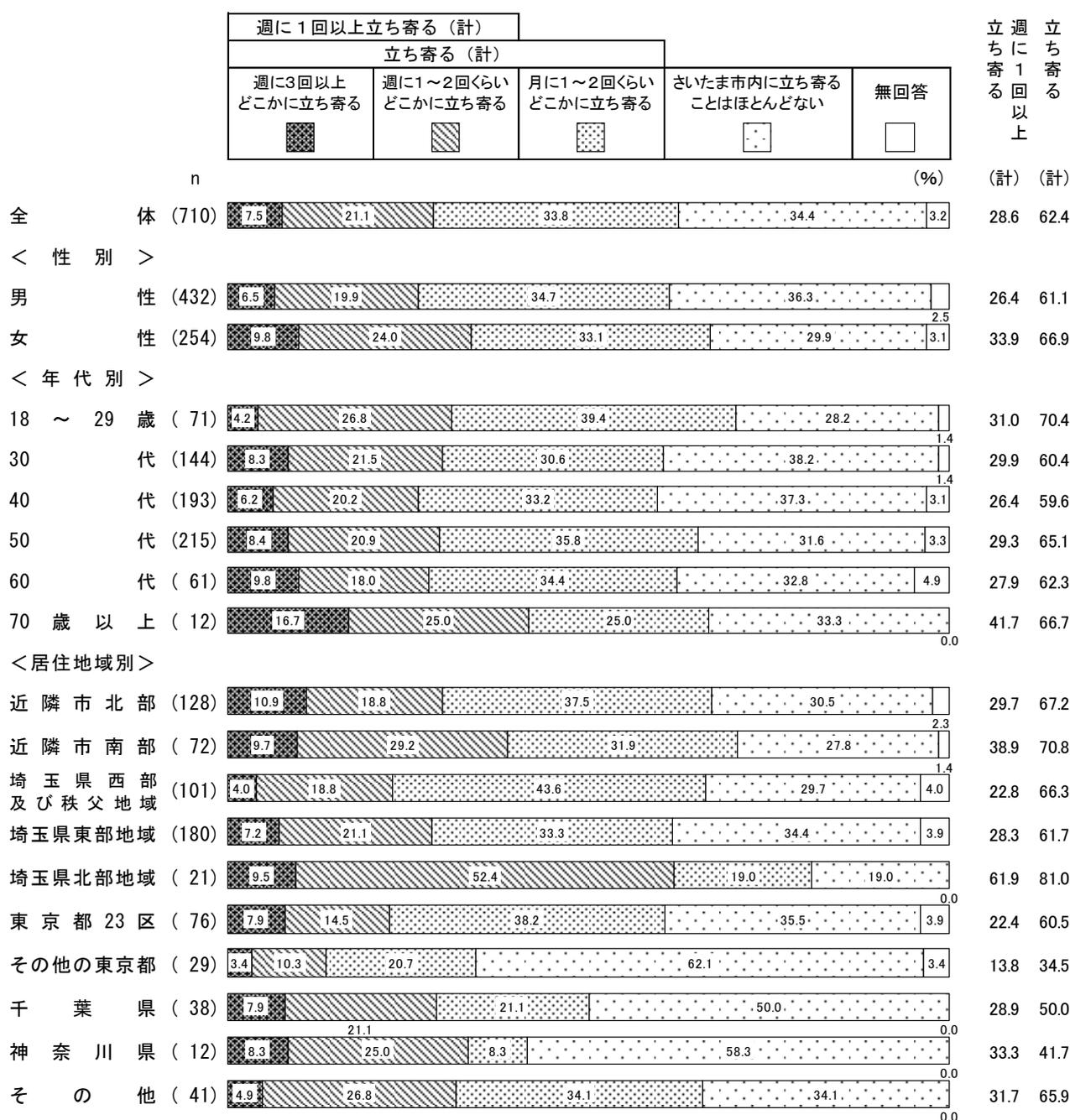


全体結果

「週に3回以上どこかに立ち寄る」(7.5%)と「週に1~2回くらいどこかに立ち寄る」(21.1%)を合わせた『週に1回以上立ち寄る(計)』は、28.6%であった。さらに「月に1~2回くらいどこかに立ち寄る」(33.8%)を合わせた『立ち寄る(計)』は、62.4%であった。

過去4年間の調査結果と比較すると、令和5年度とおおむね同じであった。(図3-1-1)

図3-1-2 仕事のあとさいたま市内に立ち寄る頻度—性別、年代別、居住地域別—



属 性 別

性別でみると、『週に1回以上立ち寄る (計)』は7.5ポイント、『立ち寄る (計)』は5.8ポイント、女性が男性より高かった。

年代別でみると、『立ち寄る (計)』は、すべての年代で5割以上であり、18~29歳 (70.4%) で7割であった。

居住地域別でみると、『立ち寄る (計)』は、「近隣市南部」(70.8%) でほぼ7割であった。

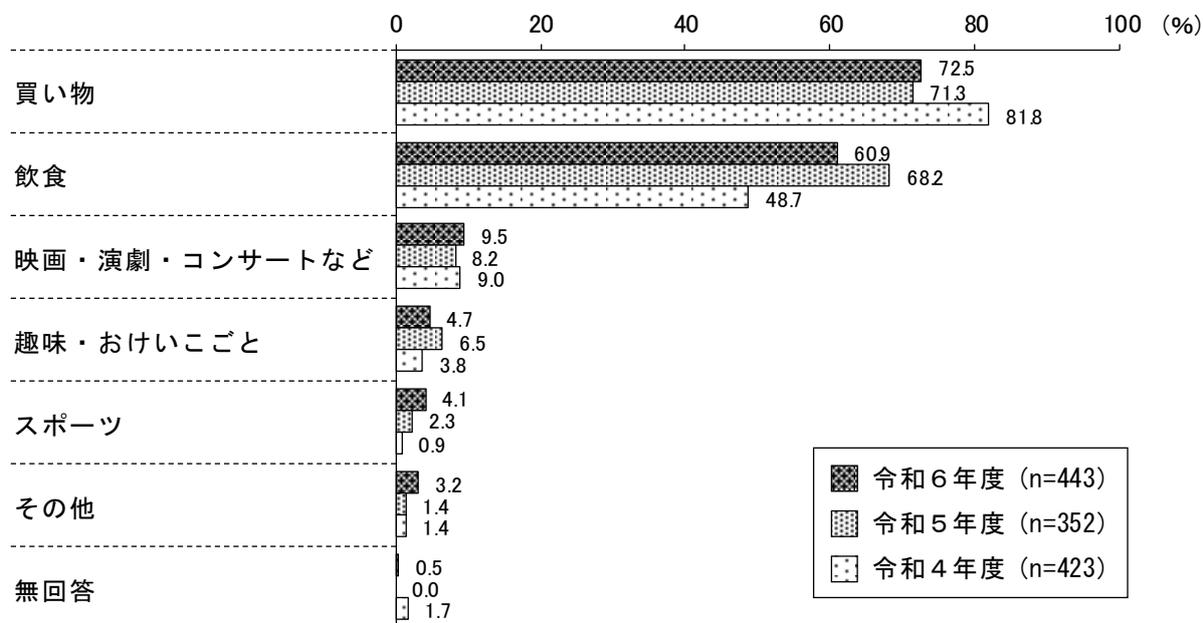
(図3-1-2)

(2) 立ち寄る目的

(問5で「週に3回以上どこかに立ち寄る」「週に1～2回くらいどこかに立ち寄る」「月に1～2回くらいどこかに立ち寄る」と答えた方に)

問5-1 どのような目的で市内に立ち寄りますか。(〇はいくつでも)

図3-2-1 立ち寄る目的



全体結果

「買い物」(72.5%)と「飲食」(60.9%)が高かった。

過去2年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ「飲食」は7.3ポイント減少した。

(図3-2-1)

表3-2-1 立ち寄る目的—性別、年代別、居住地域別—

(%)								
	n	飲食	映画・演劇・コンサートなど	買い物	スポーツ	趣味・おけいこ	その他	無回答
全 体	443	60.9	9.5	72.5	4.1	4.7	3.2	0.5
< 性別 >								
男 性	264	71.2	8.0	62.5	4.9	3.8	1.9	-
女 性	170	47.1	12.4	88.8	2.9	5.9	5.3	-
< 年代別 >								
18 ~ 29 歳	50	68.0	12.0	76.0	2.0	4.0	4.0	-
30 代	87	60.9	13.8	67.8	2.3	6.9	5.7	-
40 代	115	60.9	5.2	69.6	4.3	7.8	0.9	-
50 代	140	59.3	9.3	75.0	5.7	2.1	4.3	-
60 代	38	63.2	10.5	78.9	2.6	2.6	-	-
70 歳以上	8	62.5	12.5	87.5	12.5	-	-	-
< 居住地域別 >								
近 隣 市 北 部	86	58.1	10.5	84.9	5.8	7.0	5.8	-
近 隣 市 南 部	51	54.9	13.7	76.5	7.8	3.9	2.0	-
埼 玉 県 西 部 及 び 秩 父 地 域	67	56.7	14.9	71.6	3.0	6.0	3.0	-
埼 玉 県 東 部 地 域	111	57.7	9.0	74.8	3.6	0.9	-	0.9
埼 玉 県 北 部 地 域	17	82.4	11.8	64.7	5.9	17.6	11.8	-
東 京 都 23 区	46	67.4	-	67.4	-	4.3	4.3	-
そ の 他 の 東 京 都	10	70.0	-	30.0	-	-	10.0	-
千 葉 県	19	78.9	10.5	63.2	5.3	10.5	-	-
神 奈 川 県	5	60.0	-	80.0	-	-	-	-
そ の 他	27	70.4	7.4	55.6	3.7	3.7	3.7	-

属 性 別

性別でみると、「買い物」は、女性（88.8%）が男性（62.5%）より26.3ポイント高かった。一方、「飲食」は、男性（71.2%）が女性（47.1%）より24.1ポイント高かった。

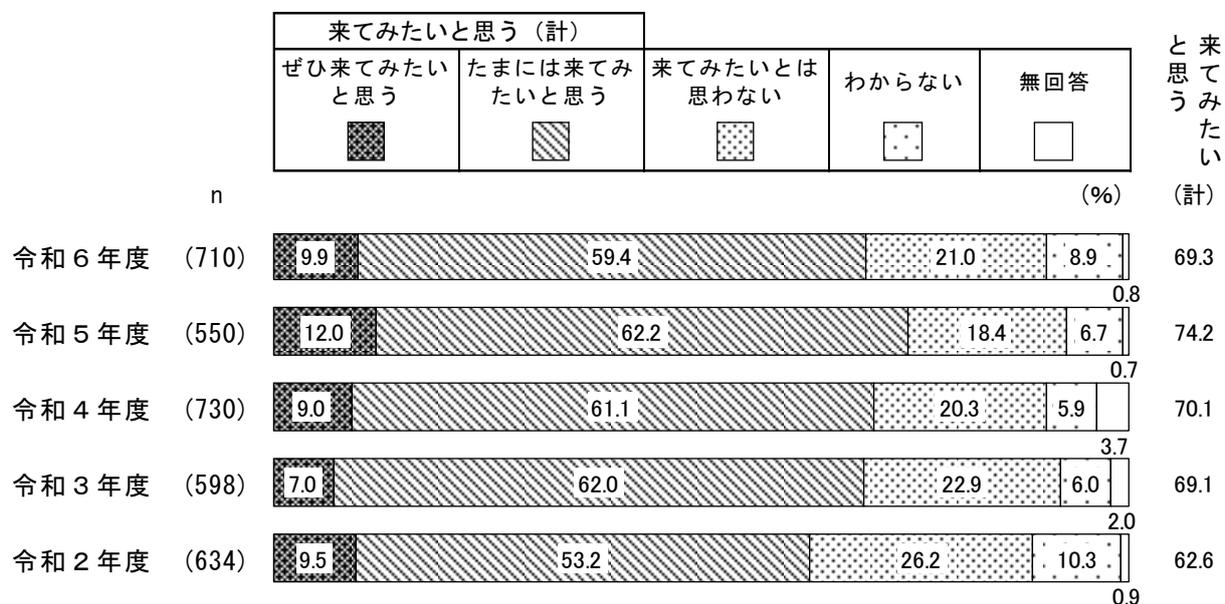
年代別でみると、「飲食」は、18～29歳（68.0%）で7割近かった。

居住地域別でみると、「買い物」は、「近隣市北部」（84.9%）で8割半ばであった。（表3-2-1）

(3) 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向

問6 あなたは、仕事が休みの日に、買い物や遊びで、さいたま市に来てみたいと思いますか。
(○は1つ)

図3-3-1 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向

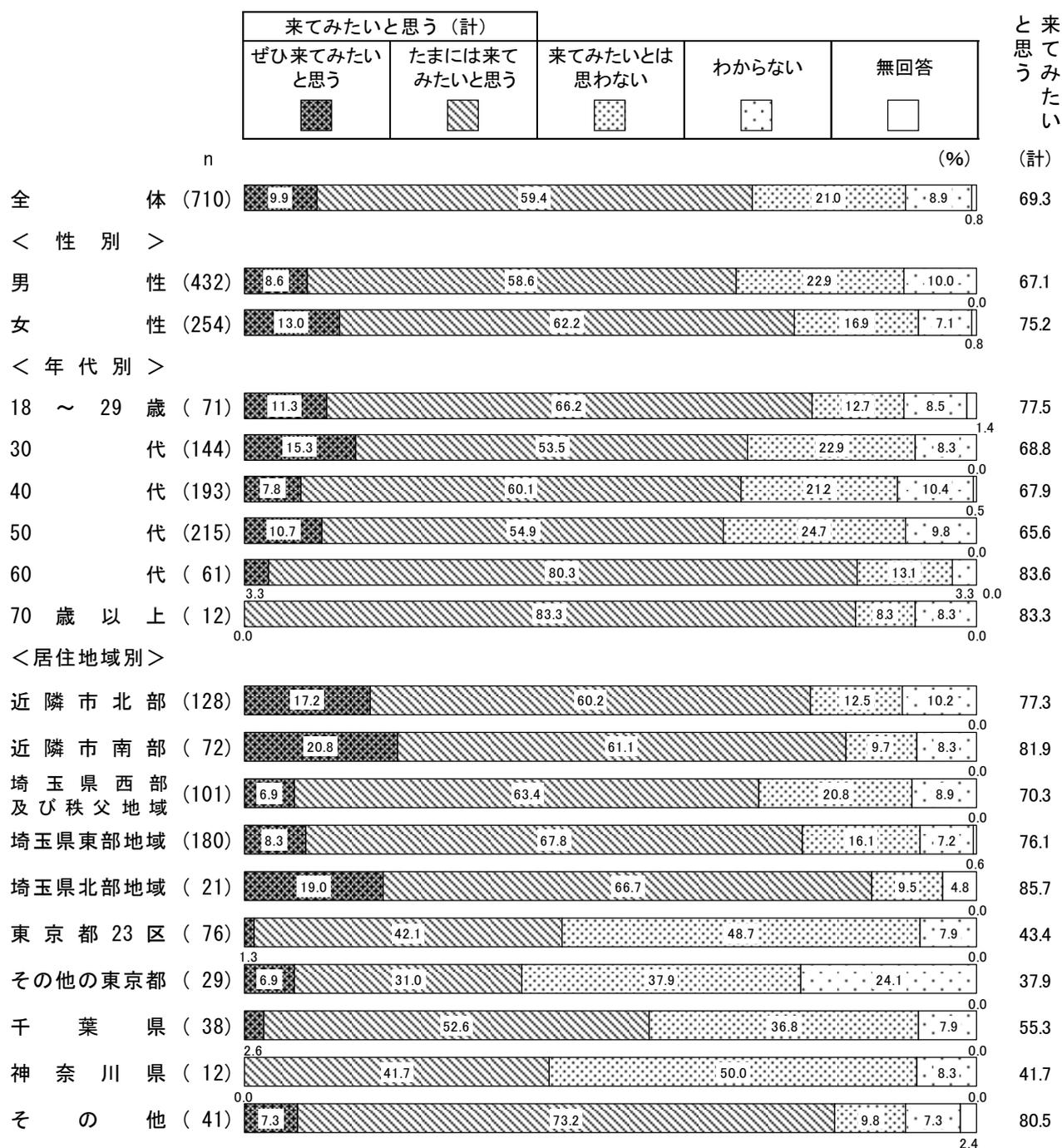


全体結果

「ぜひ来てみたいと思う」(9.9%)と「たまには来てみたいと思う」(59.4%)を合わせた『来てみたいと思う (計)』は、69.3%であった。

過去4年間の調査結果と比較すると、令和5年度と比べ『来てみたいと思う (計)』は4.9ポイント減少した。(図3-3-1)

図3-3-2 買い物や遊びでのさいたま市への来訪意向—性別、年代別、居住地域別—



属性別

性別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、女性 (75.2%) が男性 (67.1%) より 8.1 ポイント高かった。

年代別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、60代 (83.6%) が最も高く、8割を超えた。

居住地域別でみると、『来てみたいと思う (計)』は、「近隣市南部」(81.9%) で8割を超え、埼玉県内は7割以上であった。(図3-3-2)

